

= Match Report =

令和6年度第18回 千葉県高等学校新人体育大会 サッカー大会女子の部

3位決定戦

2025年 2月 1日 (土)

11:00 kick off 会場(

八幡球技場

)

マッチNo.【 21 】

八千代松陰

高校(

青

)

vs

市立船橋

高校(

白

)

1 0 - 0 2
1 - 2
-
-
PK

基本システム 1 - 4 - 3 - 3

基本システム 1 - 3 - 6 - 1



【Match Report】

立ち上がりは八千代松陰ペースで試合が進んだ。前線から連動したプレスをみせ、全体を押し上げて守備から攻撃のリズムをつくる。ディフェンスラインでボールを動かしながら、中盤ではMF⑩忍足がボールを収め、サイドに展開して縦への突破に優れたMF⑦白井がチャンスを演出する。対する市立船橋は自陣でブロックをつくって対応し、カウンターからゴールに迫る。一進一退の攻防が続く中、徐々に市立船橋が試合の主導権を握る。中盤でMF⑥木村とMF⑧荒金の絶妙なポジショニングとワンタッチのパスで、八千代松陰はボールの取り所を決められない。長短のパスを織り交ぜながら決定的なシーンをつくったが、八千代松陰もゴール前では身体を張り、GK①勝田のファインセーブもあり得点を許さない。

後半になると八千代松陰が勢いを取り戻し、前半同様ハイプレスで市立船橋を苦しめた。前線だけでなく中盤とディフェンスラインも連動した守備を続けることで、セカンドボールを回収することが増えた。61分、DF⑤加藤のゴール前へのクロスから、FW⑧瀧田がこぼれ球を押し込んで先制する。対する市立船橋も65分、MF⑩篠原が見事なミドルシュートを決め、試合を振り出しに戻す。その後も両チームとも球際で激しいボールの奪い合いが続いたが、70分、市立船橋がCKのこぼれ球をMF⑩篠原が冷静に流し込み勝負を決めた。4月から始まる総体県予選での両チームの更なる躍進に期待したい。

記載責任者

所属(千葉県:千葉経済大学附属高等学校)

氏名(

小林貴幸

)